

## 概要

佐伯東小学校は、佐伯市学力向上実践研究事業に係る研究指定校として、「自ら学ぶ力」と、思考力・判断力・表現力等を育成するための算数科授業のあり方についての研究を進めている。

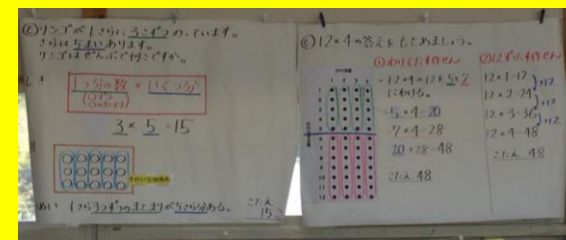
## 指導の3視点

- ①「育成を目指す資質・能力の柱」がバランス良く実現される  
単元構造に基づいた**一時間のねらいが明確な授業づくり**
- ②見通しを持ち、課題を解決できるための効果的な提示方法  
や**既習事項の想起**
- ③自分なりの考えを、具体物を操作したり、**絵・図・表・グラフ・言葉・式などを用いたりして表現**させる工夫

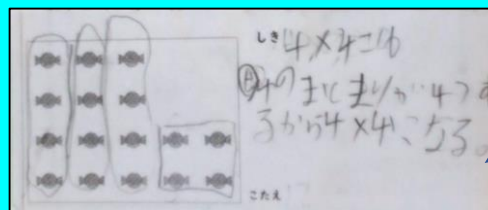
### ①本時のねらい：

あめの数について、きれいな四角形をつくることに着目し、**わけたり**、動かしたり、**うめてから**ひいたりして、かけ算を使って求める活動を通して、図と式をつなげて考えを説明できるようにする。

### ②前時の振り返りと既習事項の掲示

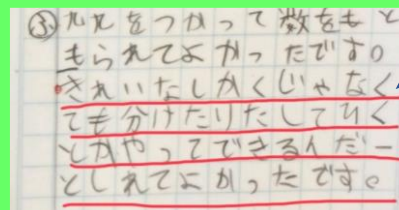


### ③考えを整理しやすいワークシート と 計算の説明



しき  
 $4 \times 4 = 16$   
 4のまとまりが4つあるから  
 $4 \times 4$ になる

### ◆児童のふりかえり



きれいなしきじゃなくても、**わけたり、たしたりしていか**とかが**できるんだ**、と知れてよかったです。



◆授業の後半、友達のつくった式の紹介を真剣に聞く児童